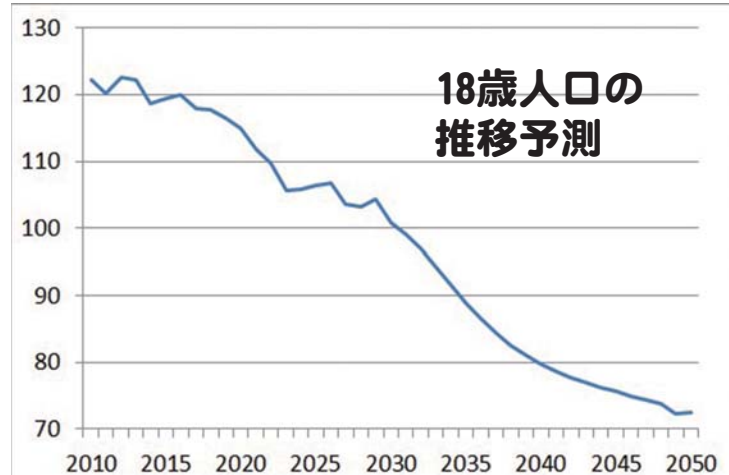


こんなに危ない! 大学を取り巻く未来

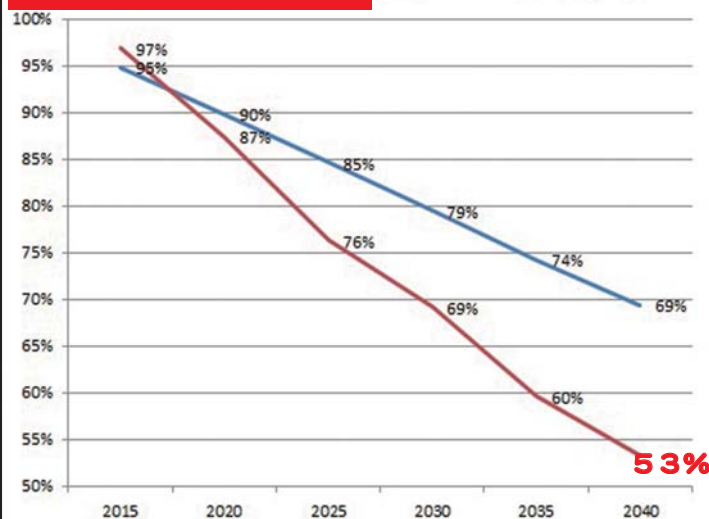
2018年問題

2018年には18歳人口が大きく減少に転じる。
2010年に122万人だった人口が25年後には80万人を割り込む。

約50%で横ばいを続けてきた大学進学率も、親の経済状況の悪化や卒業後も安定した就職先が無いなどの理由で今後は下がることが予想される。



北近畿の人口推移



	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
北近畿	600633	569754	539308	508049	477299	446034	416658
15歳~19歳	27719	26855	24220	21131	19159	16515	14753

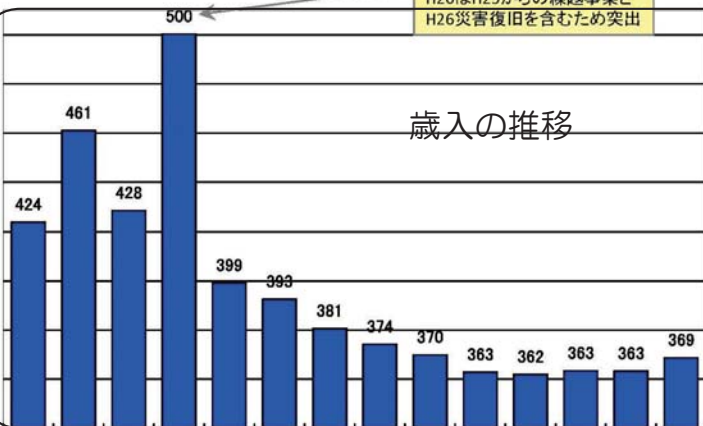
総務省統計局「平成22年国勢調査による基準人口」及び国立社会保障・人口問題研究所による推計。
15歳~19歳の人口は約半分になる。

18歳人口が急減する2018年以降は、**地方国立大学も定員割れをおこす**と言われ、代々木ゼミナールはすでに9割の校舎を閉鎖した。

公立化というだけで学生が集まるのは2018年まで、それ以降は京都市内でキャンパスライフが過ごせる有名私立大学や地方国立大学などといった**大学と学生確保をめぐる戦い**になる。

また、福知山の大学は北近畿唯一というが、北近畿の人口は急減し、15~19歳に至っては25年後に**53%と半減**する。

※公立化すれば京都工芸繊維大学の30人程度の新学科が3年生後半からの1年半を「成美学園」女子高跡地に来るのは良い材料であるが、**連携であり福知山公立大学とは直接関係がない。**



福知山市の財政

福知山市作成の「中期財政見通し」を見ると、**急激に財政が減少し5年後には単年度赤字に陥る。**

福知山市がどんな財政状況であろうと、大学が定員割れで**赤字**が続いた場合、福知山市で補填をしなければならない。

たとえ市が財政破綻しても簡単には閉校できない。

5年後には赤字に転落する福知山市の財政で、現在進んでいる公立化計画において、もし**経営赤字**を出すようならば、**福知山市が夕張市に墮ちる**可能性が高くなる**重大な案件**であります。

どのような結果になろうと責任をとる福知山市と福知山市民は、今回の公立化の**重大さと無謀さを認識し**、それでも公立化をすすめるならば

- ①市の財政をふまえた財政計画の精査
- ②大学経営の周到な計画
- ③市民の意見の集約や現実的な中高生の声など

市民に十分説明され、時間をかけ検討を重ねたうえで市民合意が必要です。

私たちは今進んでいる未来に責任を持たない拙速な公立化には反対です!